

# 削って詰めた歯がしみる!!

「少し様子を見ましょう」…なぜ??

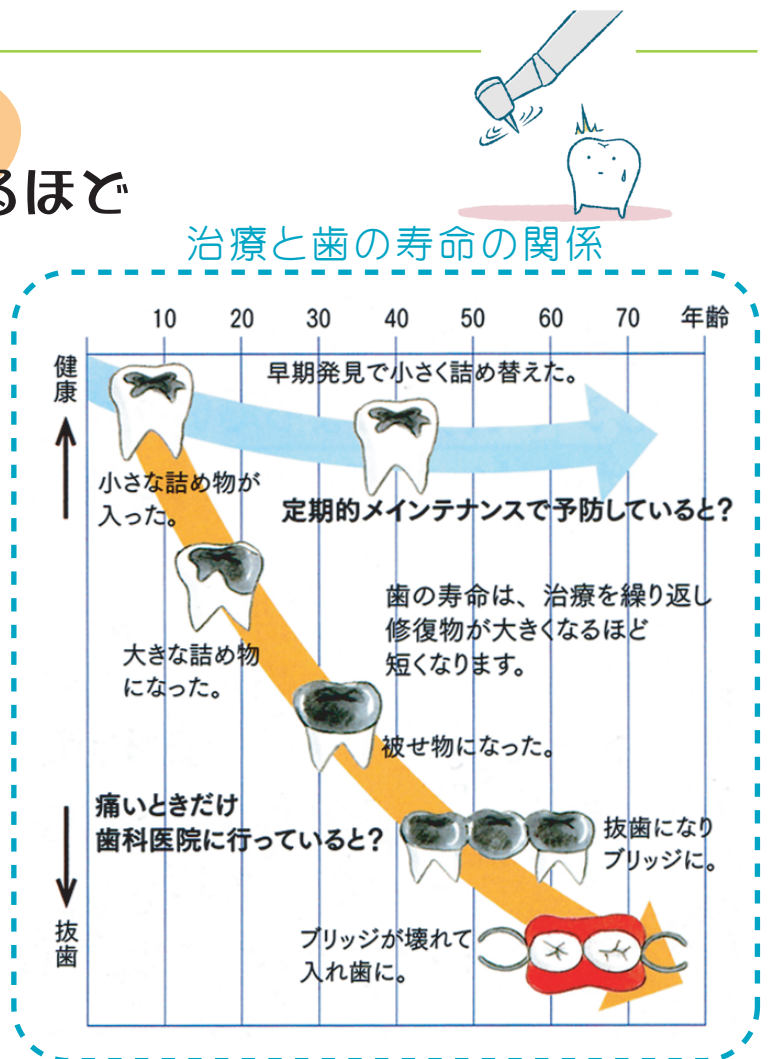


## 神経を大切に守って、歯の寿命をなるべく長く!

削って詰めた歯がしみて、不安になったことはありませんか？歯のしみをなくすためにいちばん効果的な方法は、神経をとってしまうことです。しかし、私たちは、神経を残せる可能性があり、いくらかきみる程度で生活に支障がない症状であれば、神経を大切に守って患者さまの歯の寿命をなるべく長持ちさせたいと考えています。なぜなら、神経は歯に栄養を運ぶ大切な組織です。神経をとっても被せ物をして使い続けることはできますが、歯の根っこにひびやわれなどが起こりやすくなり、歯の寿命が短くなるためです。ですから、しばらくしみても徐々に症状が治まって、平気になるケースがほとんどなので、長い目でみれば患者さまにとって大変メリットがあるのです。

## 歯の寿命は、 大きな治療をすればするほど 短くなるって本当？

むし歯治療をして、詰め物や被せ物などは、使っているうちに必ず消耗して、いつかは壊れます。健康な歯のように、一生涯使い続けることはできません。毎日強い力が加わり、酸っぱいもの、塩分、熱いもの、冷たいものなどにさらされながら働き続けるのですから無理もありません。治療をやり直すたびに修復物は大きくなっていき、それにつれて歯は弱くなり、歯を失うリスクが高くなるのです。



「もう少し様子を見ましょう」というのは、「将来にわたってあなたの歯を大事に守っていきたいと思っています」という気持ちが込められています。定期的なメンテナンスやむし歯予防をし、私たちとともに大切な歯を長期的に守っていきませんか？